

「AIに勝てる税理士」ここに現る!

新時代に選ばれる専門家集団! 税理士法人OCパートナーズ

業界の大きな変化が叫ばれる近年。新たな顧問先候補との面談において、85%もの成約率を誇る税理士法人がある。それが税理士法人OCパートナーズだ。その代表は業界内でも屈指とも言える異色の経歴を持つ「税理士らしくない税理士」。クラウド会計やAIなど、様々な技術革新によって税務会計の世界も大きく変わろうとする今、同代表税理士の呉村哲弘氏より「税務会計業界の未来」についてお考えをお伺いした。



代表税理士 呉村哲弘氏

—まずOCパートナーズがご提供しているサービスなどについて教えてください。

呉村 当法人の設立は2009年1月。以来、起業家支援・会社設立支援に特化して、信頼性の高い業務サービスを提供してきた税理士法人です。税務会計の処理だけに留まることなく、会社設立手続き、創業融資や許認可、助成金、口座開設支援、設立後の節税はもちろん労務や法務の支援など。設立支援は言うに及ばず、その先にある経営の安定化・成長まで視野に

入れ、妥協や惰性のない徹底的にきめ細やかなサービスで信頼を獲得してきました。

【 ジャニーズ出身の税理士法人代表? 】

—呉村代表の経歴について何うにあたり、まさに特筆すべきものがありますね?

呉村 中学の頃、関西ジャニーズJrとしてエンターテインメントの世界に身を置いていたことですね。ジャニーズ退社後も役者として、多く

の素敵な監督の下でお仕事をさせていただきました。どちらも夢中になって取り組みましたし、とても楽しく、充実感のある仕事をさせてもらえたと思っています。

—エンターテインメントの世界から税理士に。どんな転機があったのでしょうか?

呉村 20歳の頃にふと「このままでいいのかな。自分がやりたいのは、本当に芸能の世界なのかな」と考えて。ビジネスの舞台に立つにあたって、自分も何か一生の武器を持たなくては



ならない。そう考えた時、私にとっての武器は「税理士」だったので。

―道を決めてからの実行力、実現へのスピード感も早かったそうですね？

呉村 21歳から税理士の勉強を始め、25歳で税理士5科目を取得。26歳には大阪で独立開業していました。その3年後には東京進出もしています。おかげさまで、周囲の方々からも驚かれるスピードで顧問先を拡大することができました。

【 代表の仕事は、人材プロデュース業！ 】

―驚異的とも言える拡大・成長は、どのようにして実現できたとお考えでしょうか？

呉村 常に「お客様が喜ぶための究極のおもてなし」を追求し続けた点が挙げられると思います。お客様にとって、どうすれば「最高の税理士」「唯一無二のパートナー」となれるか。同時に全メンバーにとって、どうあることが「理想的な税理士法人」であるのか。もっと細かな点で言えば、それこそ「暑い中訪問されたお客様へ、どうしたら心地よく感じてもらえるか」「どんなオフィスにすれば、お客様がビックリしてくれるだろう」と。

「お客様に喜んでいただく」を一切妥協することなく、懸命に追求する。このことが各方面からの信頼にもつながったのだと思っています。まさに開業から今日までの9年間は、それを全力で探し続けた毎日でしたね。

―その代表の想いを、共に追及してくれたのが今のメンバーであると。

呉村 所内では男女を問わず、それぞれに強みを持ったスタッフたちが活躍してくれています。人は誰しもがそれぞれ違う個性を持っているものです。長所もあれば、短所もある。であれば当然、人を育てる過程や方法も千差万別であると思っています。

一人ひとりに最も適した指導法や過程をカスタマイズして届ける。そうして人を育てること。あるいは、職場環境を整備することや、才能を発揮できる事業や業務を開拓すること。今、私がやるべき仕事は、そうしたある種の「プロデュース業」だと感じています。

―人材育成において、大事にしているポイントはありますか？

呉村 全メンバーと直接、密にコミュニケーションをとることを何より大事にしてきました。スタッフに成長してほしい。今ある状況を変えてほしい。そう思うのであれば、まず私がしな



くてはならないことは「自分がどう考えているか」という想いを伝えることだと考えています。

時間をかけて、手間を惜しまず、直に想いを語りかける。上司部下なんて面倒くさい関係性を一旦取っ払い、まず「人」として向き合い、話をする。この過程を踏まえないければ、何も変わ



ることはないと考えています。

—そうしてメンバーが成長してくれることが代表の喜びであり、OCパートナーズの強化にもつながる、と？

呉村 そもそも、彼ら彼女たちに共通している点を挙げるとすれば、それは人を喜ばせたり楽しませたりすることが好きな、コミュニケーション力に富んだ人材ばかりである、という点。そんなメンバーたちが、目の前で変化し、成長してくれるのは、とてもうれしいものです。

今いる3名の課長たち、前職では色々な苦悩があった彼らも、OCパートナーズで大きく才能を開花させてくれました。彼らへ真摯に向き合った結果「OCパートナーズに入って良かった!」と言ってもらった時にはこれ以上ない喜びでした。今後お迎えする方々に関しても、OCパートナーズで最高のワークライフを得ただけよう、全力でプロデュースさせていただきます！

OCパートナーズ、 そして税務会計業界の未来は…

—「OCパートナーズの今後」について、どのようなビジョンをお持ちなのでしょう？

呉村 私がOCパートナーズを立ち上げる前に思い描いていた目標はすべてクリアできました。一方で、今年開業10年目を迎えるにあたり、OCパートナーズは今また大きく変化と進化を実現しようとしています。

今後はもっともっと「全メンバーと一緒に仕事を楽しむ」に比重を置きたいと考えています。「売上」を中心に考えてのではなく、皆が「仕事を楽しむ」ことが中心。その結果として売上が上がったり、組織の規模拡大があったりする。考え方の順序を変えるだけで、そこで働くメンバーたちの充実感は大きく変わってほしい。今以上に活気あふれる職場にしたいと思っています。



—クラウド会計やAIといった技術革新が進み、業界も変革を迫られています。

呉村 確かに、作業の面では大きく変わるでしょう。より効率的に働ける環境を、当法人も整えることができると思います。しかしそれが、私が「一生の武器」として選んだ「税理士」という仕事の危機だとは、正直少しも感じていません。

そもそも私たちが携わっているのは、企業経営者をはじめとするお客様方が、命の次に大事にしている「お金」を扱う仕事です。それほど大事なものを、心持ためAIなどにゆだねたいと思うのでしょうか？

—ゆだねる対象は「機械」ではない、と？

呉村 私たちが商品やサービスに感動する。あるいは「ありがとう」という感謝の気持ちを深く感じる。そこには必ず「人」の存在が欠か

せません。大事な悩みを打ち明け、解決策を相談し、安心を与えてほしいと思う対象。それはやはり、技術が今以上に進化した未来においても「人」なのではないでしょうか。

これまでにもお話ししたように、「人の育成」や「人が生み出すサービス」、そして「人がお届けする究極のおもてなし」など、当法人最大の魅力は「人」にあると考えています。ですから私たちは、更なる技術革新が訪れるであろう将来を恐れるのではなく、共に新しい「仕事の楽しみ」を見つけられる未来として純粋に待ち遠しく思っています。税務会計の世界で励む方々、これから飛び込もうとしている若手の方々に、自信を持って取り組んでもらえたらと願っています。

—お話、ありがとうございました。

